

平成20年4月9日

CSRとしての社会貢献活動について

横浜信用金庫（横浜市中区尾上町 2-16-1 理事長 斎藤 寿臣）は、CSR活動として下記の3団体に対する寄付等の社会貢献活動を実施しました。いずれも、創立70周年記念事業の一環として平成5年に開始し継続して行っているものです。

記

1. 「社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会」への寄付

3月27日に同協議会の善意銀行に対して320万円（累計2,679万円）を寄付しました。当金庫は横浜市及び横浜市周辺地区における社会福祉活動を助成し、社会福祉の向上に寄与することを目的とする「よこしん社会福祉協力基金」に毎年1,000万円を積立て、現在1億6,000万円になりました。この基金の運用果実相当額を、在宅老人介護や障害者の方へのボランティア活動を行う個人及び団体に対する助成金として同協議会に寄付しています。

2. 「財団法人 横浜市芸術文化振興財団」への協賛

4月2日に同財団 横浜美術館が主催する「クラシックライブ」及び「子どものアトリエ～親子のフリーズゾーン」に対する助成金として200万円（累計3,200万円）を贈呈しました。当金庫では、平成5年より同ライブへ協賛してきましたが、本年度は「子どものアトリエ」へも協賛します。

「クラシックライブ」は、横浜美術館企画展期間中の土曜日午後2時から美術館のグランドギャラリーで、横浜在住の音楽家を中心とした出演者により行われるコンサートです。また、「子どものアトリエ～親子のフリーズゾーン」は、小学生以下の子どもとその保護者に、ねんど・絵の具・紙を使って美術館内で遊んでもらうプログラムです。当金庫は地域の文化事業のお役に立てるように協賛しています。

3. 「財団法人 日本盲導犬協会」に対する助成

4月9日に同協会に対して盲導犬の育成費として300万円（累計3,600万円）を寄付しました。盲導犬の育成は寄付や募金等によって支えられており財源が不安定です。また、盲導犬1頭を育てるためには、多額の費用が必要です。1頭でも多く盲導犬が育つことを願い、育成費の寄付を続けています。

たしかな明日のお手伝い



神奈川・東京に60店舗